



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市亀田総合体育館
 試合区分：少年女子 1回戦
 開催期日：2009年10月2日（金）
 開始時間：13:30

GAME No. 1002G3

主審：岩田 千奈美
 副審：伊藤 明

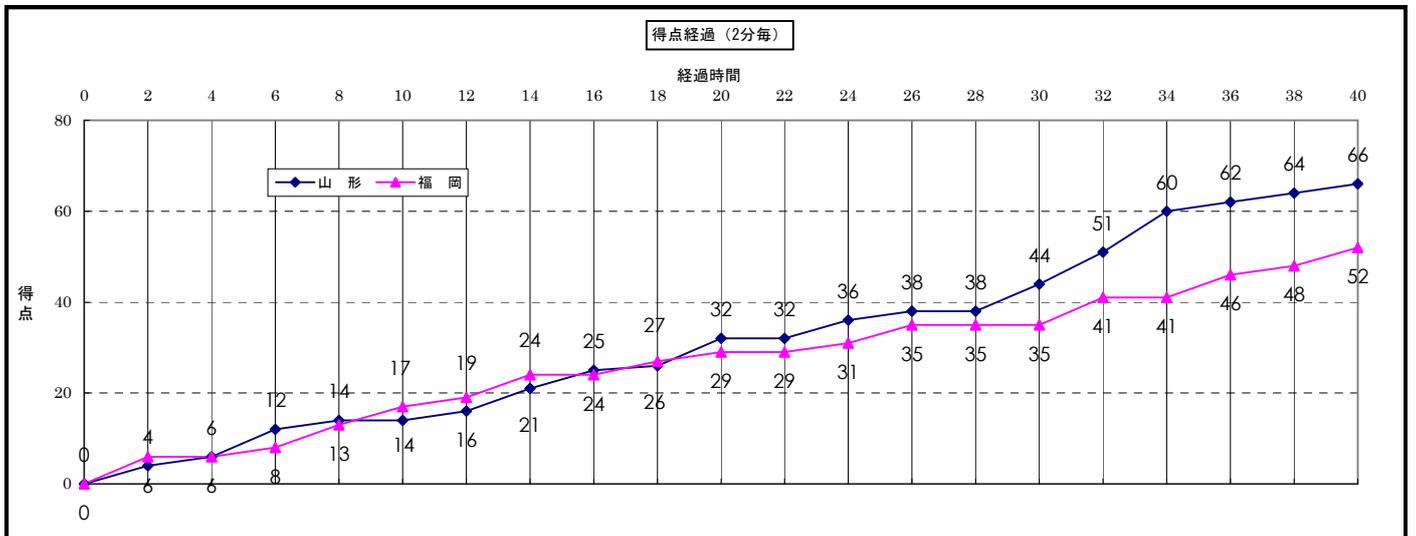
Team A	○	14 -1st- 17 18 -2nd- 12 12 -3rd- 6 22 -4th- 17	●	Team B
山形	66		52	福岡

TEAM A		山形					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	佐藤 綾香	21	0	10	1	1
5	*	加藤 千尋	11	1	4	0	2
6		横山 史佳	6	0	2	2	0
7	*	武田 灯	13	0	6	1	1
8	*	小野 夏希	11	1	4	0	1
9		後藤 由喜	-	-	-	-	-
10		佐竹 美咲	0	0	0	0	1
11		原田 英里	-	-	-	-	-
12		上野 真実	-	-	-	-	-
13		細谷 映理菜	-	-	-	-	-
14	*	大沼 美琴	4	0	2	0	4
15		黒田 陽菜	-	-	-	-	-
Coach		高橋 仁	-	-	-	-	0
TOTAL			66	2	28	4	10

TEAM B		福岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		川原 ゆい	0	0	0	0	2
5	*	橋詰 まり	10	0	4	2	1
6	*	金原 彩姫	14	1	4	3	4
7	*	瀬崎 理奈	16	2	4	2	1
8	*	岡山 華織	8	2	1	0	2
9		内田 美樹	2	0	1	0	0
10		林 ゆい	0	0	0	0	0
11		金本 望	0	0	0	0	0
12		打越 裕梨	0	0	0	0	0
13		津野 彩華	0	0	0	0	0
14	*	津田 史穂莉	2	0	1	0	1
15		上妻 佐世	0	0	0	0	0
Coach		池田 憲二	-	-	-	-	0
TOTAL			52	5	15	7	11

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	18:11	18:55	35:27	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	7:25	-	22:50	33:10		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、山形は1:2:2ゾーン、福岡はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。山形のゾーンディフェンスに対し、福岡はアウトサイドシュートが決まらず#5橋詰のポストプレイ、ミドルシュートで得点。対する山形は、#5加藤、#6横山の1対1、ミドルシュートで対抗する。残り2分、福岡はタイムアウトからディフェンスを2:1:2ゾーンに変える。すると山形の得点が止まり、福岡が3連続で得点を重ねて14-17と3点リードして終了。

2Q、両チームとも相手のゾーンを攻めきれず、お互いに得点が伸びない展開となる。福岡は#5橋詰のゴール下、#6金原、#7瀬崎のアウトサイドシュートで得点。山形は#7武田のドライブイン、#8小野の3Pで得点をするものの互いに決め手に欠け、一進一退の展開となる。両チームとも流れを掴みきれないまま、32-29と山形リードで前半を終える。

3Q、両チームともシュートが決まらず2分間得点が入らない。開始3分に山形が#8小野のミドルシュート、#10佐竹のスティールからのレイアップシュートで連続得点を上げて流れを引き寄せる。福岡はタイムアウトで流れを断ち切ろうとするが、山形はインサイドのディフェンスを頑張り、アウトサイドシュートの決まらない福岡は苦しい展開となる。残り2分で福岡#5橋詰がベンチに下がると、山形はゴール下に切れ込み、3連続得点を上げ、44-35とリードを広げて終了。

4Q、福岡は1:2:1ゾーンプレスで追い上げるが、開始3分すぎから山形#4佐藤、#5加藤が3Pを含む5連続ゴールを上げ、一気にリードを広げる。福岡はオールコートマンツーマンで必死に食い下がるが、最後まで山形のゾーンディフェンスを攻めきれず、66-52で山形が逃げ切った。